

事業所名

児童発達支援事業所 はっぴーone信

支援プログラム（参考様式）

作成日

R7年 2月 21日

法人（事業所）理念		あせらず、急がず、ゆっくりと				
支援方針		自分の力に気づき、自分の力を信じて社会を歩めるようスモールステップで多くの課題を達成できる支援を行います。 お子様方それぞれ発達課題に合わせ、得意・苦手の状態を把握し丁寧に練習を行います。 お子様が理解し行動に移しやすい環境を作り、取り組む力や考える力を身に付けます。				
営業時間（平日）	9時	00分	17時	00分	送迎実施の有無	あり
営業時間（学校休業日）	9時	00分	17時	00分		
支援内容						
本人支援	健康・生活	送迎前後で保護者様と心身の状態確認、連絡帳を通して生活リズムの共有を行います。安定しているかもしくは不安要素がある際はそれに沿った対応をさせていただきます。 食事動作が苦手なお子様へ作業療法士による姿勢保持、食事動作・自助具等に関する支援を行います 口腔内機能・感覚等に配慮し、咀嚼・嚥下・摂取量や偏り等保護者の方からご家庭の様子をお伺いしながら偏りを軽減する練習を行います。 身の回りを清潔にし、衣類の着脱、排泄等の生活に必要な基本的技能を獲得できるよう支援します プログラムに基づき、心身機能評価や訓練を実施します				
	運動・感覚	お子様の感覚の特徴を把握し、日常生活での困り感をご家族様と情報共有し対処法を考え支援します。（作業療法士による評価と説明） 日々のサーキット遊びを通して姿勢保持や運動機能、日常生活に必要な動作等、上下肢の運動・動作の習得、筋力の強化を図ります。 製作道具（発達年齢に沿ったのりやはさみ、くれよん等）、筆記用具（発達年齢に沿った鉛筆や消しゴム等）、ボールや風船等、遊びを通して道具の操作性を高めます。 発達段階に合わせて、手や指を使った細かく精密な動作を必要とする微細運動の遊びを行います。（洗濯ばさみ、パズル、積み木等）				
	認知・行動	見る・聞く・嗅ぐ・触る・味わうの五感を使って楽しむ感覚遊びを提供します。（調理、小麦粉粘土、水遊び、季節毎の散策等） 眼球運動を遊びの中に取り入れ、周辺視野を広げること、見たものを認識し記憶に残りやすくします。（動く物の追視：上下・左右・斜め・回転、静止してるものの注視等） こまめな休憩、周囲の刺激を減らす等、効果的な注意機能を考えます。（パーテーションや事物の数を減らす等） 日々のお集まりで、暦や天気の確認を行い日付や曜日の概念を練習します。個別練習や個別の声掛けを通して、色・数・形の概念形成を促します。 積み木やブロック遊びを通して空間認識や立体構造に興味を持ち、点つなぎや図形模写を通して観察力を養います。				
	言語・コミュニケーション	お子様の音声の聞き取り、日常会話（挨拶語・掛け声に回答する言葉・それぞれのお子様に合わせて声掛けとやり取り）を重ね、会話のスキルを練習します。 音声言語以外に、可視化（はっぴーわんにきたら絵リスト・見通し写真等）を取り入れ、自分の力で理解し行動できる支援を行います。 読み書き能力の向上を促す為の言葉遊び（しりとり等で音韻意識を養い、発達年齢に合わせた線なぞり等書く課題、興味ある数字・文字と音の結びつき等）を行います。 初期評価・定期評価を行い課題抽出を行い、日々のコミュニケーションの取り方、個別指導・集団指導へ取り入れます。（表出・受信の語彙の拡大） 発話不明瞭のお子様には構音練習（口唇・舌・のストレッチ・筋力増強、構音動作の獲得）を行います。				
	人間関係・社会性	お子様が登園中の園以外にも居場所があることを認識できるよう、お子様の気持ちを汲み取り、相手のお友達と信頼関係ができるよう言語化し、行動のきっかけ作りをサポートします。 好きな玩具や遊びから他児を見て模倣しようとする環境作りを行い、遊びの中で子ども同士のやりとりがあり、道具の貸し借りができる見守りや、気持ちを言語化する支援を行います。（おままごとやお店屋さんごっこ、ヒーローごっこ等） ルールある遊び（だるまさんがころんだ、ボーリング遊び、リレー遊び等）を通して役割の把握、順番を守ること等、共通ルールに沿って遊ぶ経験ができるよう支援します。 公共施設（公園・図書館・支援施設等）利用し、マナー（声量、他者・公共物等）があること理解し経験・練習を行います。 自分の行動（遊びで勝った時・負けた時）や言葉遣い（ふわふわ・ちくちく言葉）を振り返り、感情調整の練習を行います。				
家族支援	行政発信の個別ケース会議へ出席し、地域のニーズ把握し、事業所として役割を担います。 連絡帳やお電話（ライン）、ご自宅送迎時、お子様のご様子を共有させていただき、保護者様の意見をお伺いし、それに合わせた支援を取り入れます。 関係機関（園・医療機関・相談支援事業所・行政等）との定期的な情報共有を図り、支援プログラムへ反映を行います。					
移行支援	大事な就学前（5歳児）1年間の成長をサポートさせていただき、4歳児後半から就学期の流れをご説明します。5歳児は年長面談を行います（6月と1月） 保護者様の同意のもと、県の移行支援シート作成し、就学先の先生へ情報提供を行い、環境変化に伴うお子様や保護者様の負担軽減を目的としたサポートを行います。 通学する為の体力づくりの練習、帰宅後のルーティンを可視化できるツールを保護者様と相談の上ご提供します。（歩行距離、視覚支援グッズ）					
職員の質の向上	カンファレンスや日々の振り返りを行い、課題抽出、次の支援に繋げたいこと、改善すべき点を意見交換します。 外部研修は1年間に1人1回は出席していただき、他職員への資料配布とフィードバックして頂いています。 内部研修は委員会発信の開催に合わせて出席します。					
地域支援・地域連携	行政発信の個別ケース会議へ出席し、地域のニーズ把握し、事業所として役割を担います。 園・学校・学童・事業所へ行き方を伺い、情報交換を行います。					
主な行事等	凧、鬼お面、雛人形等、季節のお製作（お子様） 春と秋の散策活動、1月凧あげ、8月水遊び（お子様） クッキング（定期でお子様）		クリスマス会（親子） 卒所式（5歳児親子）			